地区だより …… 令和４年２月１日発行

ちゅうおう

＜地区人口と世帯数＞
男 19,038人　女 20,574人
計 39,612人
世帯数：20,969世帯
（1月1日現在）

2022
2月号

【編集発行】
福島市役所広聴広報課
〒960－8601　福島市五老内町３－１
☎525－3710　FAX536－9828

市からのお知らせ

令和３年度　中央東西地区自治振興協議会・中央地区町会連合会 合同市政研修会　開催
～「自分の命は自分で守る」　災害への備え ～

▲日頃から災害に備える重要性について説明を受ける皆さん

11月25日に合同研修会を開催しました。この研修は市政の取り組みについて会員の理解を深め、今後の活動に役立てることを目的に実施しています。

今回は「災害に備えて」をテーマに、本市の防災上の地域特性や災害が発生した際の避難のタイミング、災害情報の収集方法など、市の防災対策について市危機管理室の防災専門官から講義を受けました。

「自分の命は自分で守る」を日頃の生活の中で意識して、いつ起こるか分からない災害へ備えることが重要であると学ぶことができた研修会でした。

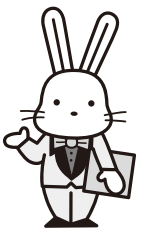
研修内容をご家族、そして地域の方々へと共有いただき、災害への意識を共有しておくことが、お互いの命を守る行動へつながります。

■問／地域共創課　☎525－3731

令和４年度個人市・県民税申告相談受け付けのご案内

■日時／３月14・15日　午前９時30分～午後３時
※終了時刻の30分前までの来場にご協力ください。

■場所／アオウゼ（MAXふくしま４階　大活動室３）
※MAXふくしまは午前９時開館です。
開館前の入場はできませんのでご注意ください。
※市内各地区の会場で申告ができます。
詳しくは「市政だより２月号」または市ホームページをご覧ください。



■持参物
❶申告のご案内（送付されている方のみ）
❷マイナンバーカード（お持ちでない方は、運転免許証・健康保険証・年金手帳などの本人確認書類１点）をお持ちください。
❸令和３年中の収入が分かる書類（源泉徴収票・給与明細書など）
※農業・営業・不動産収入を申告される方は、必要経費などを必ず帳簿などに集計してからお越しください。領収書の集計をされていない場合、受付時間が長くなることがあります。

■その他
①職員がパソコンで申告書を作成しますので、事前に申告書に記載する必要はありません。
②三密を避けるため、会場内に入場できる方の人数を制限しています。
時間を空けての再来場などにご理解、ご協力をお願いします。

■問／市民税課　☎525－3792、525－3712

所得税の確定申告作成会場は「ウィル福島アクティおろしまち」（鎌田字卸町10－１）です。
会場への入場には「入場整理券」が必要です。

■問／福島税務署　☎534－3121

中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960－8018　福島市松木町１番７号
☎534－6631　FAX533－7592

受　講　生　募　集　！

市民学校　子どもの教育講座
子どもの進路選択について考えてみませんか？

●**日　時**　①３月５日㈯　②３月12日㈯　※全２回講座
午前10時～11時30分（予定）
●**場　所**　中央学習センター　ホール
●**内　容**　①子どもの将来の進路選択について考えてみましょう
②最近の高校入試の実情について知りましょう
●**講　師**　①福島大学教育推進機構　教授　五十嵐　敦 先生
②ベスト学院進学塾　担当職員
●**対象者**　中央地区在住の一般成人の方
●**定　員**　20名（先着順）
●**参加費**　100円　※ファイル代等
●**準備物**　筆記用具等

オンラインでの申込はこちら↑

ICT活用セミナー　スマートフォン体験講座
～はじめてのスマホ～
（初心者向け簡単便利なスマートフォンの使い方）

●**日　時**　３月10日㈭　午前10時～11時30分（予定）
●**場　所**　中央学習センター　ホール
●**内　容**　講師が用意した『かんたんに操作ができるスマートフォン』を使ってスマホ体験をします。
・基本的な操作の仕方、電話のかけ方・受け方、便利機能（QRコード・インターネット等）、良さなどについて
●**講　師**　ドコモショップ福島野田店より
●**対象者**　中央地区在住の一般成人の方で、初めてスマートフォンを使用してみたいと考えている方
●**定　員**　14名（先着順）　●**参加費**　無料
●**準備物**　筆記用具等
※使用する「スマートフォン」は講師側で準備します。

ふるさと学びカレッジ　知ってますか？信夫山のこと

●**日　時**　①３月７日㈪　②３月14日㈪
③３月25日㈮　※荒天時予備日28日㈪
※全３回講座
①②午後２時～３時30分（予定）
③午前10時～12時（予定）
●**場　所**　①②中央学習センター　ホール
③信夫山現地集合
●**内　容**　①信夫山の歴史と文化・他（講義）
②信夫山と信仰・他（講義）
③フィールドワーク（実地研修）信夫山散策
※③の準備物・コース等は講座開催時にお知らせします
●**講　師**　ふくしまけん歴史の案内人の会
会長　紺野　義行 先生
●**対象者**　中央地区在住の、おおむね50代から70代の方
●**定　員**　20名（先着順）
●**参加費**　無料
●**準備物**　筆記用具等

【共通事項】
●**申込み**　２月16日㈬～２月28日㈪までの間に、中央学習センター窓口で申込みください。（休館日（火曜日・祝日）を除く）
※２月17日㈭より電話受付します。

令和やさしい地元学　信夫野・歴史の細道　第11回

ふくしまけん歴史の案内人の会（元福島県遺跡の案内人の会）　会長：紺野義行 氏

杉目大仏

福島城はかつて大仏城と呼ばれた。城内の寺に安置されていた、大杉を彫り上げて作った大日如来像に因み大仏の名称でよばれるようになったという。その大杉から杉妻の地名も生まれた。大杉が大仏になった経緯は、下野寺村の太い大杉と近くに住む一人の娘「おろす」の恋物語「王老杉（おろす）伝説」として語り継がれてきた。昔、信夫郡笹木野村に「おろす」という名の16歳の美しい娘がいた。この娘のところに村の若者がよく遊びに来ていたが、その中に一人の気品ある顔立ちの青年がいた。おろすは、その若者に好意をもつようになり、ある夜この若者の着物に糸をつけた針を刺し、若者の家を探ろうとした。若者が帰ったあと、その糸を手繰っていくと大きな杉の木に刺さっていた。この若者は大杉の精であった。おろすは若い男に化けて通っていた男を大杉と知り、村の長老に相談し、切り倒した。切り倒した大杉で、阿武隈川の洪水を鎮めるために大日如来像を作り、川の岸に安置したのが杉妻大仏といわれている。

大杉のあったところ、おろすの住んでいたところは、「折杉（おれすぎ）」・「北谷地（きたやじ）」という地名で残っている。「折杉」は大杉が折れたところ、「北谷地」は大杉を伐ったところだという。若い男の着物に付けた針が大杉の根元についていたので、その男が大杉とわかったところが「小針（こばり）」とされている。また、大杉から橋も作った。小川に架けられた橋から夜になると「おろす、おろす」と人の名を呼ぶ声が聞こえるという評判になり、誰も通らなくなった。この橋は「密語橋（ささやきばし）」と名づけられた。

福島城時代に橋は福島城南側の外曲輪の出入口にあり番所が置かれていた。密語橋のある通りは密語橋通りと呼ばれ、通り沿いには武家屋敷が立ち並んでいた。橋は通りにある外堀に架けられていた石橋だったが、昭和期に外堀は埋め立てられ暗渠化し、堀のない普通の道路になった。石橋は杉妻会館の庭園内に移設され現存している。隈畔の散歩がてら是非一度見学していただきたい。

吾妻学習センター西側にある王老杉神社

新型コロナウイルスの影響により、講座の内容に変更・中止になる場合がございますのでご了承ください。